opusdei.org

マリア年半ばにあた り、聖ホセマリアを 思う

エチェバリーア司教は、聖ホセマリアの帰天40周年(6月26日)にあたり、このビデオでオプス・デイ創立者の家族への勧告を思い出します。

2015/06/25

私たちは、オプス・デイにおいて公示されたマリア年を歩んでいます。 社会の中のすべての場所で、家族の 役割の重要性がますます認められる ようになることは、とても大切です。夫と妻、そして、子供たちも一緒に神に近づけば、家族の社会における重要性が高まるでしょう。

家族制度をとても愛した聖ホセマリアは、夫と妻に、神の現存を保つため、家族のことを考慮するよう勧めました。

皆さんの子供たちは、皆さんを見る ことで主が要求する最高の掟である 愛徳を学ぶことでしょう。二人ががいた とのようにお互いに愛し合っている か、二人がどのように接りしている か、どのように挨拶している にいるときは、子供たちより前に まず夫婦がお互いに大切にしる いることを見ることによって。

病気の子どもを看病しなければならない両親について、聖ホセマリアの話している姿が思い出されます。どれ程、彼らが英雄的で、豊かな聖なる喜びを持っていたか。霊的人間的

な支えを必要としている子どもの ベッドの側で、両親は、何時間で も、疲れを知らず、心をこめて世話 をするのです。しかし、疲労も祈り になります。

すべての家族に一つの願いがあります:それは、自分の家族の幸せだけ 求めるのではなく、すべての家族に 神の喜びをもたらそうと努めること です。

フランシスコ教皇様の勧告を実行しましょう。教皇様がなさった家族に関するカテケージスを読むように皆に勧めましょう。そのカテケージスは、優しさと同時に厳しさを含みます。

私たちは、神様と一致するために、 教皇様と一致しなければなりませ ん。それは、教会の一員としての意 識を持ち、教会になることです。次 の聖ホセマリアの薦めを、家族で体 験しましょう。「皆ペトロと共に、 いつもペトロと共に、マリアを通し てイエスへ」。

キリストを家庭に受け入れるよう、 マリアに寄り頼みましょう。そして さらに、一人ひとりと家族が聖化さ れ、他の家庭が聖化されますよう に、教皇様の 実りをもたらす言葉を 聞きましょう。

神様が皆さんを祝福されますよう に。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/marianen-nakaba/ (2025/10/23)